

YTLホテルズ、新ブランド『KASARA』を発表

～ 2014年12月、ニセコビレッジに「KASARAニセコビレッジ・タウンハウス」オープン ～

マレーシアを中心に世界7か国に、周辺地域の自然や地理的特徴を最大限に生かしたラグジュアリーリゾートおよびホテルを所有するYTLホテルズ(本社:マレーシア、親会社:YTLコーポレーション・バーハッド[東証外国株1773])は本日、新ブランド「KASARA」(カサラ)を、2014年12月より、日本を含むアジア各国に立ち上げる方針を発表しました。

YTLホテルズは、マレーシア有数のコングロマリット企業、YTLコーポレーション・バーハッドのホスピタリティ事業として、これまでにニセコビレッジ(北海道虻田郡)をはじめ、シドニー、ブリスベン、メルボルンに展開するマリオットホテル、世界遺産都市で知られる英バースのスパ完備のクラシックホテル「ザ・ゲインズバラ・バース・スパ」など、世界各地で様々なリゾートおよびホテルの開業を手掛けてきました。現在、マレーシアを中心に世界24カ所にプロパティを所有・運営しており、KASARAブランドの施設は今後、ニセコ町(北海道)、コサムイ(タイ)、ボルネオ島(マレーシア)に、順次、展開される方針です。



KASARAでは、“ラグジュアリー、かつオーセンティックでタイムレスな滞在”提供することを目的に、各施設の地理的な特徴を生かして、旅慣れた旅行者にも満足してもらえるエクスクルーシブなサービスを提供します。

第一弾として、世界有数のスキーリゾートとして名高いニセコビレッジ内に、2014年12月1日、「KASARAニセコビレッジ・タウンハウス」をオープン。3ベッドルームを備えたKASARAタウンハウスでは、同リゾートに併設されているヒルトン・ニセコビレッジやザ・グリーンリーフ・ニセコビレッジなど、同グループが所有する他のホテルとは一線を画する、ビスポークな滞在を提供する方針です。KASARAニセコビレッジ・タウンハウスの宿泊料金は1泊20万円～(予定)。

YTL ホテルズ、セールス兼マーケティング担当副社長のルーク・ハフォード(Luke Hurford)は KASARA の魅力について、「この度、新ブランドとして KASARA を発表することができ、大変嬉しく思います。KASARA では、プロパティごとに特別なご体験を提供する方針で、例えば、ニセコでは、熟練スタッフが早朝のシークレットゲレンデへお客様をご案内するほか、コサムイでは地元漁師の案内による船上での魚の水揚げ、調理体験ツアーなど、またボルネオでは天然のマッドスパツアーなど、その場所でしか体験できない、エクスクルーシブな体験、サービスをご提供します」と話しています。

KASARA の詳細につきましては、こちら www.kasara.com (英文サイト)をご覧ください。

KASARA について

KASARA では、“ラグジュアリー、かつオーセンティックでタイムレスな滞在”を提供することを目的に、各施設の地理的な特徴を生かした、エクスクルーシブな滞在を提供します。山岳地域や手つかずの熱帯雨林、美しいビーチなど、それぞれの地域が誇る自然資産をベースに、トレンドに沿ったラグジュアリーの在り方を追求し、また各地域に根付く風習や文化を取り入れ、旅慣れたゲストにも満足いただける、特別な体験とサービスを提供します。

ニセコビレッジについて

標高 1308m を誇るニセコアンヌプリの南側に位置し、アスペン(米国コロラド州)、サンモリッツ(スイス、グラウビュンデン州)と並ぶ世界有数のスキーリゾートとして知られる、日本を代表する山岳リゾート。ニセコビレッジは、「Best Ski Resort Hotel in Japan」(ワールドスキーアワード 2013)に選出されたヒルトン・ニセコビレッジをはじめ、ザ・グリーンリーフ・ニセコビレッジ(ホテル)、アーノルド・パーマー設計によるゴルフコースのほか、屈指のパウダースノーを誇るニセコビレッジ・スキー場などを有しています。

YTL ホテルズについて

YTL ホテルズは、2003 年に「世界のベストリゾート」(英コンデナスト・トラベラー誌)に選出されたパンコール・ラウト・リゾートをはじめ、マレーシア、タイ、インドネシア、中国、日本、フランス、英国において、数々の受賞を誇る一流リゾート、ホテル、ブティックホテル、スパ施設を展開しています。2012 年 7 月には、南国のボルネオにガヤ・アイランド・リゾートを開業。同年 12 月には、クラシックホテルの一つとして 70 年におよぶ歴史を持つザ・マジェスティック・ホテル クアラルンプールをリニューアルオープンしたほか、2014 年 2 月には、ビジネスおよびレジャー客を対象としたホテルブランド「Vistana」(ビスタナ)のリブランディングを手掛けています。

YTL コーポレーション・バーハッド(MYX:4677)のホスピタリティ事業として、周辺地域の自然や地理的特徴、また文化、伝統を体験いただける施設・サービスの提供に努めています。

www.ytlhotels.com

【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】

YTL ホテルズ広報代理 株式会社トレイントラックス
担当: 佐古、遠藤、原田
TEL: 03-5738-4177 FAX: 03-5738-4178
Mail: ytl@traintracks.jp